

平成26年度 佐久長聖中学校 学校関係者評価

評価 A：十分できている B：概ね十分できている C：普通である D：不十分なところがある E：ほとんどできていない

分野	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
学習指導	授業内容の充実	1 授業評価を適宜行い、その内容を検討して、生徒の学ぶ意欲を喚起する授業ができたか。	B	教材を研究し表面的な知識の伝達のみにならないように心がけた。生徒の理解の様子により自主教材を作成したり、生徒の興味を引き出す教材選択を心がけた。生徒の発言を大事にし、生徒主体の授業を意識している。成績不振者への個別の声かけや指示を強化したい。授業評価は各教科担任により対応がまちまちなので、学校として統一した形式が必要ではないか。
	教科指導力の向上	2 研究授業や教員相互の授業参観を実施し、授業の質的向上に役立てたか。	B	研究授業は教科を越えて授業の質的向上に役立っている。研究授業に向けて教科内での話し合いは様々な意見が出て有意義である。他教科、他学年の授業見学、参観をもっと積極的にやりたい。授業参観期間を設けると教員相互の授業参観をより活発に行えるのではないかと。さらに教科内、他教科間でも授業改善を活性化させ、資質の向上を目指してほしい。教員相互の授業参観の時間確保が難しい。
		3 模試・検定結果を教科内で分析し、生徒の学力に応じた授業を実施したか。	A	得意、不得意な分野を判断し長期休暇の課題に活かした。学習部からの補習会実施計画により、学年を越えて放課後等に英検対策の時間を設けることができ、合格者の増加に結びついた。結果を教科会で分析し、他学年とより連携すべきだと感じる。漢検の合格率をどう上げるべきか課題。
	学習習慣の確立	4 学習状況・学習時間の定期的調査と面接指導で、適切なアドバイスができたか。	A	見直しノートを通じて、学習上の相談やアドバイスができた。大学入試を意識した話や内容を授業に盛り込んでいる。伸び悩んでいる個々の生徒にもう少し積極的・効果的な助言をしてほしい。面接指導の時間がなかなか取りにくい、短時間でも全員に行ってほしい。
		5 授業効率を上げるため、生徒の授業に臨む姿勢の育成・指導に努めたか。	A	良い答えや質問を評価してやることで意欲を引き出すことができたが、意欲を喪失している生徒に対する声かけを実のあるものにしていきたい。授業を受ける姿勢をもっと正していかなければならない。効果的な声かけ、環境作りを学んでほしい。学習内容の難易度が上がっても、生徒の意欲と理解力を下げないように細部までさらに配慮したい。
進路指導	希望進路の実現	6 6年間を見通した計画に基づいて指導が行われたか。各学年と係の連携が十分であったか。(模試・補習・進路講話・大学研究会・勉強合宿等)	B	大学入試の内容を踏まえた上で、現段階で教えるべきものとそうでないものを分けて指導することができた。各学年内の連携や係間の連携はよくできていた。勉強合宿や大学見学で生徒のモチベーションを高めることができた。中高の教員が教科指導内容をはじめ情報交換する機会を増やし定期的に検討してほしい。スキルアップの中高連携を図ってほしい。
		7 進路指導に生かせるようなデータ整備・分析ができたか。	B	模試をよく分析し、今後の学習の目安を示していきたい。模試の絶対数が少なくなかなか難しい。
		8 勤労と職業観を育てるキャリア教育を実施したか。	A	2・3年のゲスト(企業探求プログラム)、3年の一日社会体験など効果的な活動ができている。キャリア教育を学力向上に結びつけてほしい。
生活指導	自立的生活の確立	9 服装・挨拶等、生徒の自律的取り組みの支援ができたか。	A	服装は以前よりよくなっている。挨拶のできる生徒とできない生徒が二極化している。自主的にできるよう意識づけして行ってほしい。できない生徒への個々対応が必要である。
	生徒相談の充実	10 担任・学年・部活顧問・生徒指導係等が連携を取りながら適切に生徒相談に乗れたか。	A	一人の生徒についていろいろな教職員と連携をとって対応することができた。生徒に関する情報の風通しはよい。教科担当との連携をより図りたい。悩み・相談のある生徒とは十分コミュニケーションが取れた。様々な面で中高間の連携が一層重要になってくる。
	安心・安全な学習環境の確保	11 校内の清掃美化が進んだか。定期的な巡視・立門指導・交通安全指導ができたか。	A	廊下の靴そろえはできている。立門指導は効果的に行われている。教師の声かけがなくても、あるいは見えていなくても自ら進んで美化を心がける生徒を育てたい。学習環境整備に向けての教室内の清掃美化はできた。交通安全指導はもう少し必要。校外でのモラルの指導も押し進めてほしい。
	いじめの早期発見	12 いじめの早期発見と対応に努めたか。	A	生活記録、館からの情報で早めに対応できた。からかいや嫌がらせを注意し、しっかり見ていきたい。
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	13 地域や保護者の意見・要望に対して迅速に対応できたか。	A	保護者面談を含めて、家庭連絡を密に取り合っ情報共有を図ることはできた。寮生の帰宅書や参観日・講演会等の時の面談、アンケートによって得られた意見・要望に可能な限り迅速に対応した。多様な保護者意見・要望に対応するよう努めてほしい。
		14 ホームページや学年通信を通して、各種情報を生徒や保護者に提供できたか。	A	ホームページはリニューアルされ充実している、さらに迅速な更新を図りたい。学級通信は毎月発行しクラスの状況を発信することができた。スキルアップコースの活動も深く広く取り上げられるとよい。教科的にも外部に発信できるような授業や活動を行ってほしい。
		15 情報を積極的に発信し、地域との連携を深めたか。	B	老人クラブとの交流、祭りの後の清掃活動、小学校への情報発信など今まで以上に積極的に行えた。どのような情報をどのように発信するか明確にする必要がある。学校に来てもらう機会をさらに増やしたい。